

資格取得

1. 幼稚園教諭2種免許状・小学校教諭2種免許状・保育士資格取得の要件

本学は、幼稚園教諭2種免許・保育士資格、さらに、選択により小学校教諭2種免許を同時に取得することを目指す。

- (1) 幼稚園教諭2種免許を取得する場合は、1－(表1)・(表2)にあげる科目を履修し、必要単位を取得すること。
- (2) 小学校教諭2種免許を取得する場合は、1－(表1)・(表3)にあげる科目を履修し、必要単位を取得すること。
- (3) 保育士資格を取得する場合は、2－(表1)・(表2)・(表3)にあげる科目を履修し、必要単位を取得すること。
- (4) 幼稚園教諭2種免許状及び保育士資格を同時に取得する場合には1－(表1)・(表2)及び2－(表1)・(表2)・(表3)にあげる科目を履修し、必要単位を修得すること。
- (5) 幼稚園教諭2種免許状、小学校教諭2種免許状及び保育士資格を同時に取得する場合には1－(表1)・(表2)・(表3)及び2－(表1)・(表2)・(表3)にあげる科目を履修し、必要単位を修得すること。
- (6) 教育実習、保育実習

実習種別	実習施設	実 習 日 数	実施時期	単 位	備 考
教育実習	幼稚園	4 週 間 (20日×8時間)	2年次(6月と9月)	4	
	小学校	2 週 間 (10日×8時間)	2年次(9月)	2	
保育実習Ⅰ	保育所	2 週 間 (10日×8時間)	1年次(11月)	4	宿泊を伴う
	施 設	9泊10日 (10日×8時間)	2年次(4月～11月)		
保育実習Ⅱ	保育所	2 週 間 (10日×8時間)	1年次(12月)	2	

*実習に関する指導及び説明は別途実施する。

- (7) 小学校教諭2種免許の取得については、「介護等体験」を行う必要がある。期間は、特別支援学校又は社会福祉施設等での7日間を下らない範囲の介護等体験が必要。また、必要日数「7日間」の内訳は、通達で社会福祉施設等で5日間、特別支援学校で2日間とすることが望ましいこととされ、各受入施設でも原則としてこのような日数(連続5日間・2日間)で受入れとなっている。ただし、本学は、社会福祉施設等での5日間は免除されている。

2. 幼稚園2種免許状・小学校教諭2種免許状取得の履修基準

1 - (表1) 教育職員免許法施行規則第66条の6項に定める科目

免許法施行規則に定める科目	単 位	本学開設科目	単 位
日本国憲法	2	日本国憲法	2
体育	2	スポーツ こころとからだ	1 1
外国語コミュニケーション	2	英語	2
情報機器の操作	2	コンピュータ演習	2
合 計	8	合 計	8

1 - (表2) 幼稚園教諭2種免許状取得のための科目一覧

別表第1備考 4号確認欄	1 日本国憲法2単位以上 修得		2 体育2単位以上修得			
	3 外国語コミュニケーション 2単位以上修得		4 情報機器の操作2単位以上修得			
免許法施行規則の科目名			必要単位	授業科目名	認定単位	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	人間関係	12	保育内容－人間関係	必1	
		環境		保育内容－環境	必1	
		言葉		保育内容－言葉	必1	
		保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		表現	保育内容－造形表現	必1
				保育内容－音楽表現Ⅰ	必1	
				保育内容－音楽表現Ⅱ	必1	
				保育内容総論	必1	
				保育内容指導法－健康	必1	
				保育内容指導法－人間関係Ⅰ	必1	
				保育内容指導法－人間関係Ⅱ	必1	
				保育内容指導法－環境	必1	
				保育内容指導法－言葉	必1	
				保育内容指導法－表現Ⅰ	必1	
		保育内容指導法－表現Ⅱ		必1		
計			12	計	必14	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育学概論 (教育制度論を含む)	必2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)					
	教職の意義及び教員の役割・職務の内容(チーム学校運営への対応を含む。)				保育者・教師論	必2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				教育心理学	必2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解				特別支援教育 (障害児保育を含む)	必2
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)				教育課程総論(幼・保)	必2

生徒指導、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法と技術（ICT 活用含む）	必 2
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解と教育相談	必 2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
教育実践に関する科目	教育実習	5	幼稚園実習事前事後指導	必 1
			幼稚園教育実習	必 4
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	必 2
計		17	計	必 21
大学が独自に設定する科目		2		
合 計		31	合 計	必 35

1 - (表3) 小学校教諭2種免許状取得のための科目一覧

別表第1備考 4号確認欄	1 日本国憲法2単位以上修得		2 体育2単位以上修得		
	3 外国語コミュニケーション2単位以上修得		4 情報機器の操作2単位以上修得		
免許法施行規則の科目名			必要単位	授業科目名	認定単位
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	16	国語	必2
		社会		社会	選2
		算数		社会福祉	必2
		理科		算数	選2
		生活		理科	選2
		音楽		生活	選2
		図画工作		音楽I	必1
		家庭		音楽II	必1
		体育		図画工作	必1
		外国語		家庭	選2
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む)	国語(書写を含む。)		乳児保育	必2
		社会		体育	必1
		算数		小学校英語	選1
		理科		国語科教育法	選2
		生活		社会科教育法	選2
		音楽		算数科教育法	選2
		図画工作		理科教育法	選2
		家庭		生活科教育法	選2
		体育		音楽科教育法	選2
		外国語		図工科教育法	選2
計		16	計	必10 選31	

教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育学概論 (教育制度論を含む)	必2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			
	教職の意義及び教員の役割・職務の内容(チーム学校運営への対応を含む。)			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			
生徒指導、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の指導法	必1
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必1
	特別活動の指導法		教育の方法と技術 (ICT活用含む)	必2
	教育の方法及び技術			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論と方法	必2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		幼児理解と教育相談	必2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			
目 教育実践に関する科目	教育実習	5	幼稚園実習事前事後指導	必1
			幼稚園教育実習	必4
			小学校実習事前事後指導	必1
			小学校教育実習	必2
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	必2
計	19	計	必28	
大学が独自に設定する科目	2			
合 計	37	合 計	必38	
			選31	

3. 保育士資格取得の履修基準

2 - (表1) 保育士資格取得のための科目一覧

告示による教科目				本学における教科目の開設状況		
系列	教科目	授業形態	必要単位数	開設科目	必/選	単位
教 養 科 目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	日本国憲法	選	2
				コンピュータ演習	選	2
				国語	選	2
				人間学研究Ⅰ	必	1
				人間学研究Ⅱ	必	1
				人間学研究Ⅲ	必	1
	人間学研究Ⅳ	必	1			
	外国語	演習		英語	必	2
	体 育	講義	1	こころとからだ	必	1
		実技	1	スポーツ	必	1
合 計		8単位以上		合 計	必	8
					選	6

2 - (表2) 保育士資格取得のための科目一覧

告示別表の第1による教科目				本学における教科目の開設状況		
系 列	教 科 目	授業 形態	必要 単位数	開設科目	必/選	単位
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理 I	必	2
	教育原理	講義	2	教育学概論（教育制度論を含む）	必	2
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	必	2
	社会福祉	講義	2	社会福祉	必	2
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	必	2
	社会的養護 I	講義	2	社会的養護 I	必	2
	保育者論	講義	2	保育者・教師論	必	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	必	2
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	必	2
	子どもの理解と援助	演習	1	幼児理解と教育相談	必	2
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	必	2
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	必	2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程総論（幼・保）	必	2
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	必	1
	保育内容演習	演習	1	保育内容指導法一表現 I	必	1
			1	保育内容指導法一健康	必	1
			1	保育内容指導法一人間関係 I	必	1
			1	保育内容指導法一環境	必	1
			1	保育内容指導法一言葉	必	1
	保育内容の理解と方法	演習	1	保育内容－音楽表現 I	必	1
			1	保育内容－音楽表現 II	必	1
			1	保育内容－造形表現	必	1
			1	体育	必	1
	乳児保育 I	講義	2	乳児保育	必	2
	乳児保育 II	演習	1	乳児保育 II	必	1
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	必	1
	障害児保育	演習	2	特別支援教育（障害児保育を含む）	必	2
社会的養護 II	演習	1	社会的養護 II	必	1	
子育て支援	演習	1	子育て支援	必	1	
保育実習	保育実習 I	実習	4	保育実習 I	必	4
	保育実習指導 I	演習	2	保育実習指導 I	必	2
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	必	2
合 計		51 単位		合 計	必	52

2 - (表3) 保育士資格取得のための科目一覧

告示別表の第2による教科目				本学における教科目の開設状況		
系 列	教 科 目	授業 形態	必要 単位数	開設科目	必/選	単位
保育の本質・目的に関する科目 保育の対象の理解に関する科目 保育の内容・方法に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		6	保育原理Ⅱ	必	2
				社会的養護Ⅲ	選	2
				教育心理学	必	2
				保育の心理学Ⅱ	選	2
				臨床心理学	選	2
				音楽Ⅰ	必	1
				音楽Ⅱ	必	1
				図画工作	必	1
				保育内容指導法—表現Ⅱ	必	1
				保育内容指導法—人間関係Ⅱ	必	1
保 育 実 習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	必	2
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	必	1
合 計		18 単位以上	合 計	必	12	
				選	6	

4. 免許・資格取得のために必要な最低修得単位数 (2017 年度入学生より適用)

資格と科目単位数	基礎科目	専門科目		合 計
	必 修	必修	選択	
幼稚園教諭 2 種免許 + 保育士資格	12	69	0	81
幼稚園教諭 2 種免許 + 小学校教諭 2 種免許 + 保育士資格	12	78	12	102

5. 「幼稚園教諭 2 種免許状」、「小学校教諭 2 種免許状」及び「保育士資格証明書」の交付について

- 「幼稚園教諭 2 種免許状」、「小学校教諭 2 種免許状」の授与権者は、奈良県教育委員会、授与月日は卒業式の日付で、卒業式当日に交付する。
- 保育士資格は住民票のある各都道府県への一括申請登録後、「保育士証」は、6 月末に各個人へ交付される。登録月日は 3 月 31 日付で、授与権者は各都道府県知事。

6. 看護師学校養成所指定規則で定めた教育内容

保健師助産師看護師学校養成所指定規則 別表3

(看護師課程)

教 育 内 容		単 位 数
基 礎 分 野	科学的思考の基盤	14
	人間と生活・社会の理解	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	16
	疾病の成り立ちと回復の促進	
	健康支援と社会保障制度	6
専 門 分 野	基礎看護学	11
	地域・在宅看護論	6
	成人看護学	6
	老年看護学	4
	小児看護学	4
	母性看護学	4
	精神看護学	4
	看護の統合と実践	4
	臨地実習	23
	基礎看護学	
	地域・在宅看護論	
	成人看護学	
	老年看護学	
	小児看護学	
	母性看護学	
	精神看護学	
	看護の統合と実践	
合計	102	

7. 理学療法士養成校指定規則で定めた教育内容

教 育 内 容		単 位 数
基 礎 分 野	科学的思考の基盤	1 4
	人間と生活	
	社会の理解	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	1 2
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	1 4
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4
専 門 分 野	基礎理学療法学	6
	理学療法管理学	2
	理学療法評価学	6
	理学療法治療学	2 0
	地域理学療法学	3
	臨床実習	2 0
合 計		1 0 1

8. 作業療法士養成校指定規則で定めた教育内容

教 育 内 容		単 位 数
基 礎 分 野	科学的思考の基盤	1 4
	人間と生活	
	社会の理解	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	1 2
	疾病の障害の成り立ち及び回復過程の促進	1 4
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4
専 門 分 野	基礎作業療法学	5
	作業療法管理学	2
	作業療法評価学	5
	作業療法治療学	1 9
	地域作業療法学	4
	臨床実習	2 2
合 計		1 0 1

9. 保健師学校指定規則で定めた教育内容

教 育 内 容	単位数	備 考
公衆衛生看護学	18	
公衆衛生看護学概論		
個人・家族・集団・組織の支援		
公衆衛生看護活動展開論		
公衆衛生看護管理論		健康危機管理を含む。
疫学	2	
保健統計学	2	
保健医療福祉行政論	4	
臨地実習	5	
公衆衛生看護学実習		保健所・市町村での実習を含む。
個人・家族・集団・組織の支援実習		継続した指導を含む。
公衆衛生看護活動展開論実習		
公衆衛生看護管理論実習		
合 計	31	

10. 助産師学校養成所指定規則で定めた教育内容

保健師助産師看護師学校養成所指定規則 別表2

(助産師課程)

教 育 内 容	単位数	備 考
基礎助産学	6	
助産診断・技術学	10	
地域母子保健	2	
助産管理	2	
臨地実習	11	実習中分べんの取扱いについては、助産師又は医師の監督の下に学生一人につき十回程度行わせること。この場合において、原則として、取り扱う分べんは、正期産・経膈分べん・頭位単胎とし、分べん第一期から第三期終了より二時間までとする。
助産学実習		
合 計	31	

11. 言語聴覚士養成校指定規則で定めた教育内容

	教育内容	単位数	備考
専門 基礎 分野	基礎医学	3	医学総論、解剖学、生理学及び病理学を含む。
	臨床医学	6	内科学、小児科学、精神医学、リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、臨床神経学及び形成外科学を含む。
	臨床歯科医学	1	口腔外科学を含む。
	音声・言語・聴覚医学	3	神経系の構造、機能及び病態を含む。
	心理学	7	心理測定法を含む。
	言語学	2	
	音声学	2	
	音響学	2	聴覚心理学を含む。
	言語発達学	1	
	社会福祉・教育	2	社会保障制度、リハビリテーション概論及び関係法規を含む。
専門 分野	言語聴覚障害学総論	4	
	失語・高次脳機能障害学	6	
	言語発達障害学	6	脳性麻痺及び学習障害を含む。
	発声発語・嚥下障害学	9	吃音を含む。
	聴覚障害学	7	聴力検査並びに補聴器及び人工内耳を含む。
	臨床実習	12	実習時間の三分の二以上は病院又は診療所において行うこと。
	合計	73	